

平成20年10月22日

中央社会保険医療協議会
会長 遠藤久夫 殿

中央社会保険医療協議会委員
藤原 淳
竹嶋 康弘
中川 俊男
西澤 寛俊
邊見 公雄
渡辺 三雄
山本 信夫

DPCに関する方向性について

平成15年3月28日の閣議決定において、「急性期入院医療については、平成15年度より特定機能病院について包括評価を実施する。また、その影響を検証しつつ、出来高払いとの適切な組合せの下に、疾病の特性及び重症度を反映した包括評価の実施に向けて検討を進める。」とされた。

これを踏まえ、DPC対象病院は拡大されてきた。

診療側として、DPCにおける包括評価に関し、出来高払いとの適切な組合せについて検討してきた結果、下記のとおり提案する。

記

1. 急性期病院に対する診療報酬上の評価は、DPC、出来高払いの二本の柱である。
2. 急性期病院に対するコストを適切に反映した診療報酬のあり方について、検討する。
3. DPC、出来高払いを採用する急性期病院それぞれについて、適切に評価していく。
4. DPC準備病院、DPC対象病院ともに、個々の医療機関が、一定のルールの下に、自主的にDPCを辞退することができるようにする。

以上